



だっこするよ

令和2年5月

社会福祉法人茂原高師保育園

北区立赤羽台保育園

115 - 0053 北区赤羽台1-4-11-105

TEL 3900-0189 FAX 3907-8690

園長 奥戸 昌子

5月 命を守りましょう 家族で議論しましょう

新型コロナウイルス感染拡大パンデミックが起きて、報道からは各国の増加数やあらゆる社会生活への影響が映し出されています。伝播の早さも含めて未知のウイルスの恐怖を感じます。緊急事態宣言の発令より登園自粛要請が出てからは、多く（8割近く）の皆さんに家庭保育にご協力いただいています。

ご家庭の事情やご勤務の事情がある中で登園自粛にご理解とご協力を頂き誠に有り難うございます。今は自分が出来ること、不要不急の外出を避けて罹らない、うつさない、自分の命、大切な人の命を守りましょう。お子さん初めご家族がコロナウイルスに感染された場合、濃厚接触者と判定された場合は家庭保育中であっても連絡をお願いいたします。北区保育課の指導のもと状況によって臨時休園となります。そして、今後の状況に応じて行事等も園児の安全第一に配慮し変更することもございます。ご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

さて、自粛要請期間、ご家族で過ごすことが多くなり、有意義な時間を過ごされていることと思います。先日も家庭保育に協力して下さっているパパと立ち話しをして「こどもが自分で出来ることが増えていてびっくりしました。」と嬉しそうに話して下さいました。そうです。家族の時間を楽しみましょう。我が子の新しい発見に感動しましょう。汐見稔幸先生（東京大学名誉教授、日本保育学会会長）がコロナ禍の今、親子の信頼関係を築くお話を伺いました。そのポイントは、お父さんだそうです。20年位前に父親の家庭参加を進めるプロジェクトをカナダが国家レベルで行った。調査をしたのはヨーロッパに比べ労働時間が長いこと（それでも7時半です！）父親のメンタルヘルスが損なわれているという位置づけで行われ、家庭に帰って家族で食事を楽しむ。みんなで作る。洗い物をする。こどもと学校のことを楽しく語り合う。お父さんを信頼して色々相談にのるなど、そういう役割を果たすのが父親のメンタルヘルスに一番重要だそうです。お父さんは人間として心が豊かであることを見せるべきである。父親が家族の喜ぶものを料理したり、家族のことを大切に思っていることを伝えたり何かあったときに説教目線で話すのではなく、親子関係を作り直す時間にして欲しいと。

海老名香葉子さんから林家正蔵さんの家庭のことを聞き、NHKの7時のニュースを家族で観て、終わったらそのことを巡って議論し合うことを毎日していて、一平君がこぶ平兄ちゃん（今の林家三平さん、正蔵さん）から「一平兄ちゃん今日は面白かったなあ」と言ってもらった時が嬉しくてしょうがなかった。意見が違わないと議論は面白くないこと。議論は違いがあるから面白いこと。そして、世の中に関心をもっていないことは恥ずかしいことだとお父さんから学んだと正蔵さんが話されたそうです。家族だから出来る楽しい議論も口論もあるでしょうが家族で議論することが楽しいってことを日本でも作り出せるのです。お父さんから社会のあり方や公的な物事を巡ってどうあればいいか？議論する場を普段からもっておく。家庭のことは母親に任せた…ではなく、みんなが幸せになる為にはどういう社会を作ればいいのか？など家族で議論してみてもどうか。日本ではその機会があまりなくて、家庭から奪われてきた時間かもしれない。このステイホームの機会がチャンスではと。

汐見先生の言葉はいつも知識と愛情に溢れていて感動します。子育ての時間はとても短いです。社会のこと、パパやママのこども時代のこと、家族の夢、休みの過ごし方などを語り合ひましょう。

風薫る5月、憲法記念日、こどもの日を迎えます。私は、あの美しい前文と9条、13条が好きです。風薫る5月にご家族で語り合い顔を見つめ合ってみましょう。写真、登園自粛中…テントの中には誰も。早く賑わいが戻ってきますように。